

Jアラート警報時における対応（静岡県にJアラートによる緊急情報が発信されたときの対応）

状況	対応	備考
登校前の在宅中にJアラート発報があったとき	<p>自宅待機 内閣官房の「弾道ミサイル落下時の行動」に従う。</p>	<p>学校からのメール等を待たず、身の安全を図ってください。</p>
<p>登校の指示等に関する連絡は、絆メールにて行う。</p>		
登下校中にJアラート発報があったとき	<p>避難行動 内閣官房の「弾道ミサイル落下時の行動」に従う。</p>	
<p>「避難解除」の情報が確認でき次第、登校又は下校を再開する。 合わせて登下校の指示等に関する連絡を絆メールにて行う。</p>		
学校管理下でJアラート発報があったとき	<p>屋内の場合 できるだけ窓から離れ、頭部を守るためにしゃがむ等の行動をとる。</p> <p>屋外の場合 速やかに屋内へ避難し、「屋内の場合」と同様の行動をとる。</p>	<p>教職員は、生徒の安全を最優先する。</p> <p>家庭への連絡は、絆メールにて行う。</p>

「弾道ミサイル落下時の行動」(内閣官房)

1. 弾道ミサイルが日本に飛来する可能性があるとして判断した場合

弾道ミサイルが発射された旨の情報伝達 → 避難

屋外にいる場合

近くの建物(コンクリート造り等頑丈な建物が望ましい)の中、又は地下(地下街や地下駅舎などの地下施設)に避難する。

屋内にいる場合

すぐに避難できるところに頑丈な建物や地下があれば直ちにそちらに避難する。それができなければ、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

2. その後、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性があるとして判断した場合

続報(落下時刻及び落下場所) → 直ちに避難

屋外にいる場合

直ちに近くの建物の中、又は地下に避難する。また、近くに適当な建物等がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

(ミサイルが着弾した場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、直ちに現場を離れ、密閉性の高い建物又は風上に避難する。)

屋内にいる場合

できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

(ミサイルが着弾した場合、扇風機を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。)

※ミサイルが着弾した場合、弾頭の種類によって被害の様相や対応が異なるため、避難行動を続けながら情報を収集すること。

3. その後、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下したと推定された場合

続報(落下時刻及び落下場所) → 引き続き屋内に避難

4. 弾道ミサイルが日本の上空を通過した場合

他に追尾しているミサイルやミサイルから分離した落下物が我が国の領土・領海に落下する可能性が無いことを確認した後、弾道ミサイルが通過した旨の情報 → 引き続き屋内に避難する必要なし

※不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡する。

5. 日本まで飛来せず、領海外の海域に落下した場合

続報 → 引き続き屋内に避難する必要なし

※不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡する。